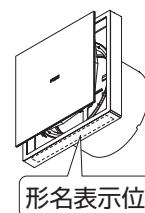


室内給気部材

差圧給気レジスター(プッシュ式)

メルコエアテクノロジー

形 名		形 名	
壁据付タイプ		天井据付タイプ	
[ネットフィルター付]	AT-150QSUN4	[ネットフィルター付]	AT-150TQSUN4
[不織布フィルター付]	AT-150QSUF4	[不織布フィルター付]	AT-150TQSUF4



取扱説明書（据付説明書付）

この製品は気密性の高い住宅等で汚れた空気を排気するときに必要な新鮮な外気を取り入れるためのもので、レンジフードファンなどの換気扇とともに使用するものです。

■この製品の性能、機能を十分発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付けが必要です。

■据付けを始める前に、この説明書をよくお読みになり、正しく安全に据付けてください。

■据付けは販売店・工事店様が実施してください。

据付け終了後は、必ずこの説明書をお客様にお渡しください。

ご使用の前に説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。


なお、お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。

この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。

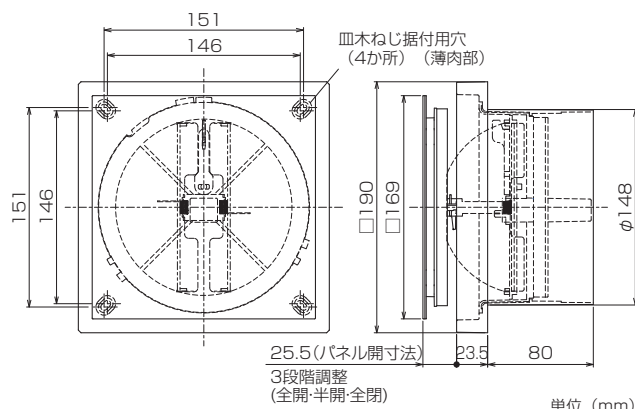
This appliance is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で説明しています。

 <h2 style="text-align: center;">注意</h2> <p style="text-align: center;">指示に従い 必ず行う</p>	<p>誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ●据付けは確実に（落下によりけがをする原因） ●据付けやお手入れの際は、手袋を着用する（着用しないとけがをする原因） ●本体の据付場所はガス機器の設備基準に従って炎の立消え等ガス機器への悪影響の無い場所で室内がよく換気される場所に据付ける（炎の立消えなどで一酸化炭素中毒をおこす原因）
--	---

外形寸法図



■付属部品

●気密パッキン(厚さ3mm)… 1本

●気密パッキン(厚さ5mm)… 1本

■適用パイプ

●硬質ポリ塩化ビニル管 (VU)

※硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) には据付けできません。

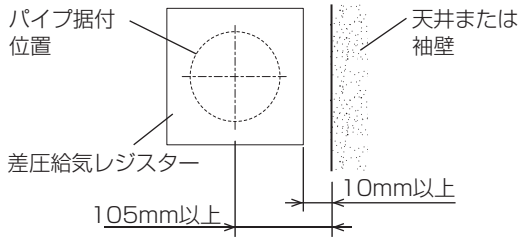
●スパイラルダクト

据付け前のお願い

- この製品は据付場所により形名が異なります。
壁据付けの場合：
AT-150QSUF4, AT-150QSUN4を使用してください。
天井据付けの場合：
AT-150TQSUF4, AT-150TQSUN4を使用してください。
- この製品はC値（床面積当たりの隙間面積）=1.0cm²/m²以下かつ床面積が100m²未満の住宅に適用します。
上記条件が確保されない場合にはシャッターが十分に開かないことがあります。
- 屋外環境に適したフードを選定してください。
雨水がかかる場合…深形フードをおすすめします
風雨が強く下から吹き上げがある場合…角形耐外風フードをおすすめします
外の騒音が大きい場合…防音形フードをおすすめします
- 屋外部材を組み合わせる場合、壁厚が薄いと据付けられない場合があります。
- 直接炎・油煙が当たるおそれのある場所や有機溶剤・可燃性ガスのある場所では使用できません。
- 屋外（外気）の環境によっては、壁（天井）を汚すことがあります。また、小さな虫は侵入する場合がありますので、屋外側においては外灯などから離れた場所を選んで据付けてください。
- 外気（冷気）侵入や雨水浸入、虫侵入の影響のない場所を選んでください。
- 外気の取入れは燃焼ガスなどを吸込まない、積雪で埋もれたりしない場所を選んでください。
- 高温（40℃以上）になる場所・浴室などの湿度が高い場所では使用できません。
- 下記環境下で使用しますとシャッターおよびパネル表面から結露水が滴下することがあります。
（屋外温度が-5℃を下回り、かつ室内温度20℃、室内湿度が50%RH以上）
- 火災警報器がある場合は、感知部から1.5m以上離れた場所に据付けてください。
- メンテナンスができる場所に据付けてください。
- 硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) には据付けできません。
- 接続するパイプは雨水の浸入を防ぐため、屋外に向けて1/30の下りこう配をつけてください。
- 設置したパイプのねじ固定部付近へは据付けしないでください。本体のパイプガイドが変形し、パネルユニットの回転・着脱不具合の原因となります。
- 設置したパイプに著しい変形（ツブレ等）がある場合は、製品を据付けしないでください。
- 石こうボードにねじ固定する場合は、必ず市販の石こうボード用アンカーを使用して据付けてください。
- 据付面に反り・凸凹がないか確認して据付けてください。
- 有機溶剤入のシーリング材などは樹脂を溶かすので使用しないでください。

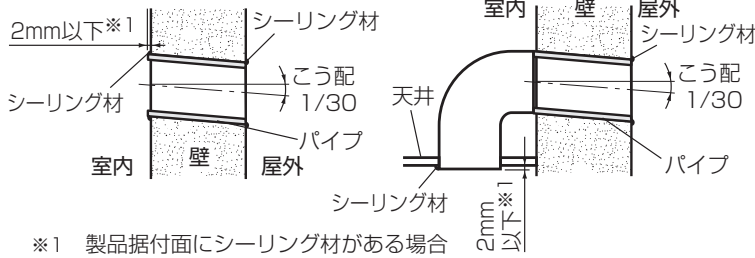
据付方法

1. 据付け前の準備



【壁据付タイプの場合】

【天井据付タイプの場合】



※1 製品据付面にシーリング材がある場合

1. 据付場所を決めて穴をあける。

- お手入れの際、パネルユニットの脱着が必要になるため、左図を参照して外壁に穴をあけてください。

2. 製品に合った適用パイプを壁に埋込む。

- 屋外に向けて1/30の下りこう配をつけてパイプを埋め込んでください。
- 石こうボードにねじ固定する場合、石こうボード用アンカー（市販品）を使用して据付けてください。据付用穴位置は、外形寸法図を参考にし、石こうボード用アンカーに合わせてねじ固定してください。
- 製品据付面にシーリング材などがはみ出す場合、2mm以下としてください。

■据付方法は下記に従って選定してください。

据付方法	据付場所		
	天井	壁 据付高さ1.8m以上	壁 据付高さ1.8m未満
ねじ固定	○	○	○
シーリング固定	×	×	○

○:推奨 ×:不可

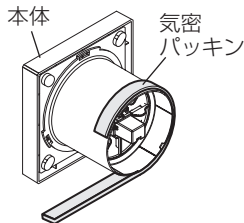
2. 本体の据付け

お願い

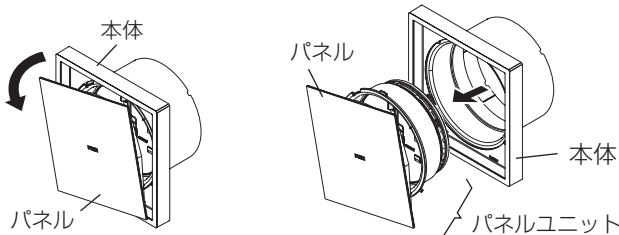
- 本体とパネルユニットの間に砂などが付着するとパネルユニットの着脱不具合の原因になりますので、本体とパネルユニットを清掃してください。
- パネルユニットを固定する際、必ず「カチッ」と音がするまで右に回転させてください。固定が不十分な場合、パネル開閉動作の不具合やパネルユニットが落下するおそれがあります。

市販の皿木ねじで据付ける場合

1. 気密を確保するため、パイプ径に合わせて付属の気密パッキンを本体パイプの端面を基準に巻き付ける。



2. パネル中央部を押して全開にする。パネルを左に回転させてから手前に引き抜き、本体からパネルユニットを取り出す。

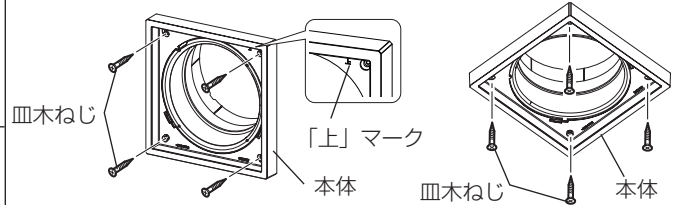


3. 据付用長穴を用いて市販の皿木ねじ（4本）で固定する。

- 【壁据付タイプ】の場合は、本体の「上」マークを上側にして据付けてください。
- 皿木ねじはφ4.1以下で長さ30mm以上を使用してください。
- 固定の際、本体が変形しないように据付けてください。すき間やパネルユニットの回転・着脱不良の原因となることがあります。

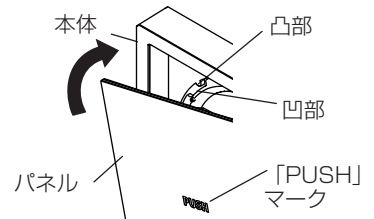
【壁据付タイプの場合】

【天井据付タイプの場合】



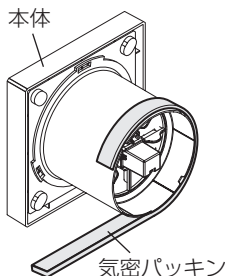
4. パネルユニットの凹部を本体の凸部に合わせて、パネルを右に回転させて固定する。

- パネル中央部の「PUSH」刻印が読める向きにして取付けてください。



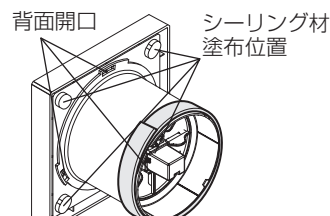
シーリング材で据付ける場合

1. 気密を確保するため、パイプ径に合わせて付属の気密パッキンを本体パイプの端面を基準に巻き付ける。



2. 下図の本体4か所にシーリング材を塗布する。

- 背面開口（3か所）にシーリング材を付着させないでください。パネルユニットが回転できなくなります。

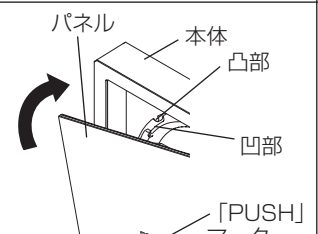


3. 製品の上下を確認し、設置したパイプへ水平に差し込み確実に固定する。

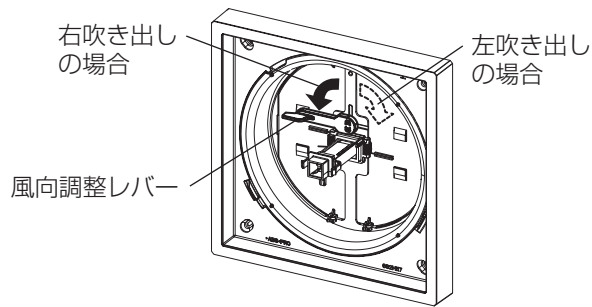
- 設置したパイプ内のほこり、水分をきれいにふき取ってください。
- 据付面と本体の間にすき間ができないように据付けてください。
- 壁との間にすき間ができた場合は市販のねじで固定してください。

4. パネルユニットの凹部を本体の凸部に合わせて、パネルを右に回転させて固定する。

- パネル中央部の「PUSH」刻印が読める向きにして据付けてください。



風向の調節をする場合



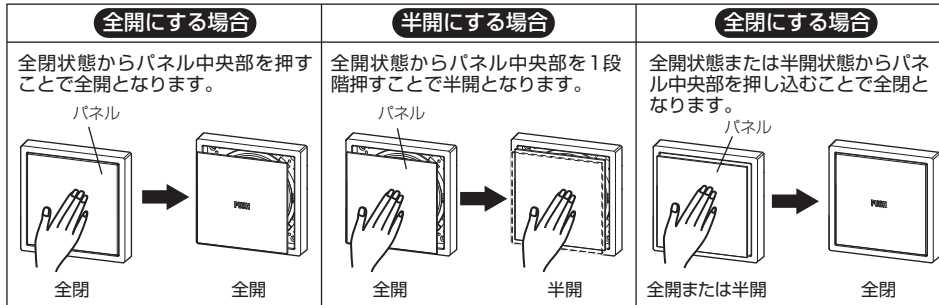
- パネルユニットを取りはずした状態でユニット内部の風向調整レバーを左右どちらかへ90°回転させてください。

レバー固定位置	風向
右	左吹き出し
左	右吹き出し

- ※レバーが操作しにくい場合は、パネルユニットからパネルを取りはずしてください。（パネルの取りはずしかたは下記の「お手入れ 1 項」を参照ください）

使用方法

※この製品はパネルを押すことで、3段階（全開・半開・全閉）の開口面積の調節が可能です。強風・豪雨時または冷気の侵入を感じる場合など、状況に応じて調節してください。



お願い

- 通常は全開状態で使用しますが、台風など外風が強い場合や水滴が入るおそれのある場合はパネルを「全閉」にしてください。その後は必ず「全開」にすることを忘れないでください。
- 使用環境条件により結露が発生することがあります。結露が発生した場合、水滴はふき取ってください。

お手入れ

フィルターにほこりが付着しますと風量低下などの原因になりますので、約2か月に1度を目安に清掃してください。

注意



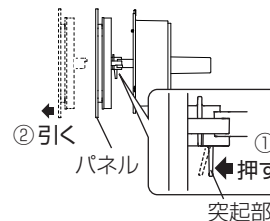
指示に従い必ず行う

- お手入れの際は、手袋を着用する（着用しないとけがをする原因）

- お手入れの際は足元が不安定な状態で部品の脱着を行わないでください。

1. パネル中央部を押して全開にする。
パネルを左に回転させてからパネルを手前に引き抜き、本体からパネルユニットを取り出す。

袖壁が近い、またはパネルの回転がスムーズでない場合



- パネル裏側の突起部を左図のように押しながらパネルを引き抜く。
- ユニットボックスの凸部（左図の○部）に指をかけて左に回転させてから手前に引き抜き、本体からユニットボックスを取り出す。
- 取りはずしたパネルは、ユニットボックスの取付けがすべて完了した後、元通り取付けてください。

2. フィルターを取りはずす。

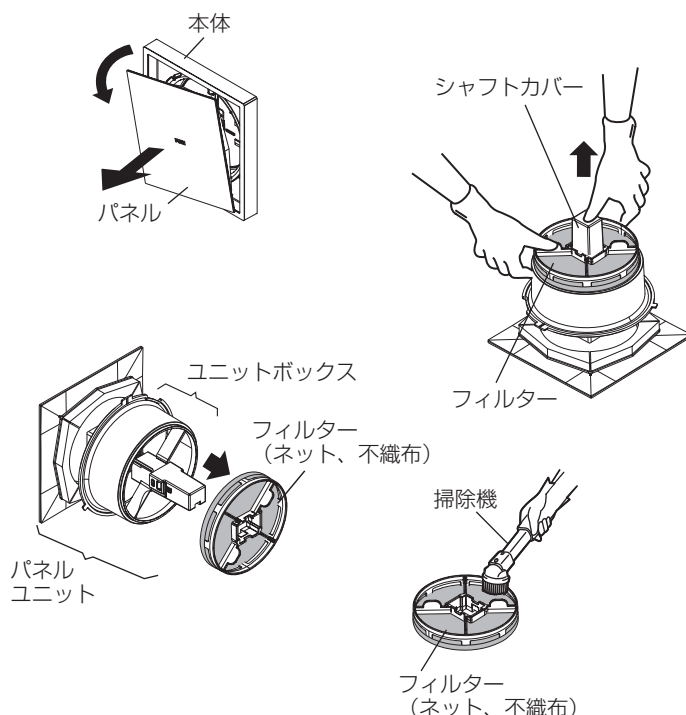
- 図のようにフィルターの左右を持ち、親指でシャフトカバーを抑えながらフィルターをはずすとスムーズに取りはずすことができます。
- パネルにキズが付かないように柔らかい布などを敷いて行ってください。

3. フィルターの清掃

- 軽く手でたたくまたは、掃除機でほこりを吸い取ります。汚れのひどい場合は、水またはぬるま湯（40℃以下）に台所用中性洗剤を溶かしてすすぎ洗いをし、よく乾かします。

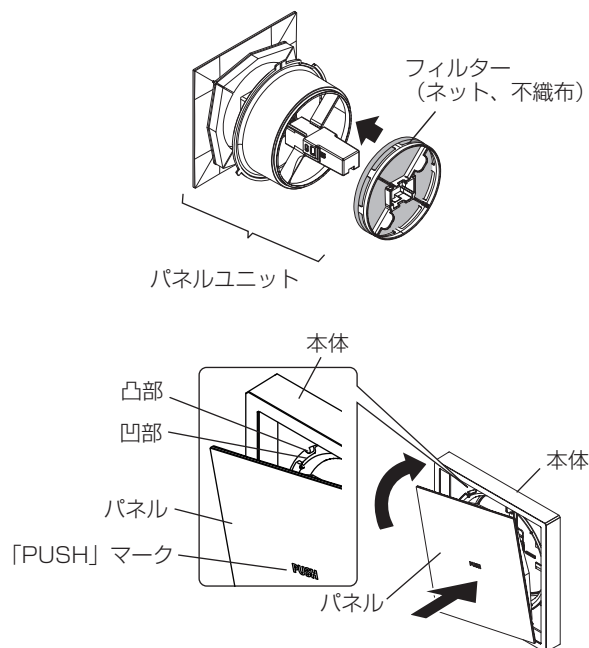
お願い

- 不織布フィルターは、枠に入った状態で清掃してください。
- すすぎ洗いをした場合は、よく乾かして十分に水気を取ってください。
- フィルターを熱湯で洗ったり、もみ洗いしたり、直接火で乾かすことはしないでください。
- ネットフィルターは定期的な清掃により繰り返しご使用いただけますが、著しいフィルターの目詰まりやフィルター繊維の破損、ほつれがひどい場合などは別売の交換用ネットフィルターと交換してください。
- 不織布フィルターは、水洗い5、6回を目安に別売の交換用不織布フィルターと交換してください。



フィルターの種類	交換用フィルター	適用形名
ネットフィルター	AT-150QRKN4-F	AT-150QSUN4 AT-150TQSUN4
不織布フィルター	AT-150QRKF4-F	AT-150QSUF4 AT-150TQSUF4

お手入れ つづき



4. パネルの汚れは、薄めた台所用中性洗剤を浸した布で汚れをふき取り、洗剤が残らないよう乾いた布でよくふき取る。
5. 取りはずしたフィルターを元通り取付ける。

お願い

- フィルターは枠にはまり込んだり、折れ曲がらないように確実にパネルユニットに取付けてください。固定が不十分な場合、虫やほこり侵入のおそれがあります。
- 6. パネルユニットの凹部を本体の凸部に合わせて、パネルを右に回転させて固定する。
- パネル中央部の「PUSH」刻印が読める向きにして取付けてください。

お願い

- 本体とパネルユニットの間に砂などが付着するとパネルユニットの着脱不具合の原因になりますので、本体とパネルユニットを清掃してください。
- パネルユニットを固定する際、必ず「カチッ」と音がするまで右に回転させてください。固定が不十分な場合、パネル開閉動作の不具合やパネルユニットが落下するおそれがあります。
- 7. パネル中央部を押してパネルを全閉にする。
- パネルを全閉にすることでパネルがシャフトに固定されます。
- 8. パネル中央部を押してパネルを全開にする。

お願い

- 台所用中性洗剤を使用量の目安まで薄めて使用してください。（洗剤は原液のままで使用しないでください）
- 台所用中性洗剤で清掃した後は、中性洗剤が残らないようふきとってください。
- お手入れに下記の溶剤や洗剤、清掃用具を使用しないでください。製品表面に傷つきや破損・変形・変質・変色、割れが発生する原因になります。
（シンナー、アルコール、ベンジンなどの溶剤、ガソリン、灯油、カビ取り洗剤、柑橘系などの植物系洗剤、スプレー、酸性洗剤、アルカリ性洗剤、塩素系洗剤、化学ぞうきんの薬品、クレンザーなどの研磨剤入りの洗剤、殺菌剤、消毒剤など）
- フィルターをははずす際に虫やほこりが落下する場合がありますのでご注意ください。
- フィルターを入れ忘れると壁や天井が汚れる原因となりますので、フィルターを入れ忘れないようにしてください。

- パネルに貼付けてあるクッションをはがさないでください。
- パネルユニットの動作機構部は分解しないでください。
- 設置時のフィルターから種類を変更する場合、換気性能に影響をあたえることがあります。
- 交換用フィルターは、純正品をご使用ください。純正品は、下記にてお問い合わせいただけます。

交換用フィルターのご注文

■ オンラインショップ

<https://www.melcoairtec.jp/>

右の二次元コードからもアクセスできます



※お問い合わせは、本紙末尾に記載されているフリーダイヤルよりご連絡ください。

メルコエアテクノロジー株式会社